

協働事業に関する企画書

団体名 NPO法人ユーアイネット柏原

1 事業名 (継続事業)	「城山砦跡」の整備・管理と有効活用プロジェクト
2 事業の詳細	柏原所在の「城山砦跡」を狭山市の歴史的財産として後世に継承できる保存に向けた維持管理 ①夏秋冬、年3回の清掃(雑草木の除去を含む)をして環境保全を図る。 ②本郭内にある危険防止柵の修理・設置 ③環境保全に向けた見回りの実施 ④史跡の簡単な歴史と遺構の略図を記載した現行案内パンフレット(史跡案内)の増刷併せ、小学生向けを作成する。
3 実施体制	NPO法人ユーアイネット柏原の生活支援事業部門のスタッフを中心として、プロジェクトチームを結成。柏原地区センターや公民館活動の有志に呼びかけてプロジェクト応援隊を結成して物心両面の支援を仰ぐ今後の方向として、市及び商工会との連携体制を構築し、持続可能な組織と仕組みを検討する。
4 役割分担	【提案団体の役割】 ①史跡の清掃・整備と管理 ②関係団体との連絡・調整 ③事業遂行に係る必要経費の見積もりと実行 【市の役割】 ①必要経費の支援 ②史跡の整備・管理状況の監督 ③市のホームページに史跡の魅力を掲載また宣伝用パンフレットを作成して市の商業の隆盛とまちの活性化に資する
5 協働の効果	歴史的財産の保全・景観の維持 25～26年度に清掃・整備協働作業を行うことによって狭山市の歴史的財産を整備することができ、子供や親子連れを始めとして、多くの市民が春夏秋冬を通じて親しめる「オラガマチ」の誇れる場所として認知されつつある(市博物館主催見学会、講演会)
6 事業のアピールポイント	・本協働作業により、市内の史跡を地元住民が守りその価値の保全に貢献できることをPRする。 ・行政と民間の協働事業を通して市の貴重な文化遺産を後世に確実に継承できる好事例として強くアピールする。
7 今後の課題と検討	史跡の保全・管理の継続的推進策の検討 来年以降の運用費用の捻出と担い手の確保 市からの委託形式、守る会立上げ(寄付金)検討 史跡活用と地域活性化との一層の推進化 史跡の宣伝・PR(パンフレット・ホームページ)の促進 史跡の活用と「まち」の活性化策(桜祭・散策)